

「免疫エフェクター細胞関連神経毒性症候群（ICANS）」について

1. はじめに

昨今、造血器悪性腫瘍の治療に用いる医薬品及び再生医療等製品の電子添文において、最新の知見に基づき「免疫エフェクター細胞関連神経毒性症候群（ICANS）」が注意喚起されていますので解説いたします。

2. 免疫エフェクター細胞関連神経毒性症候群（ICANS）について

(1) 疾患概念

米国移植細胞治療学会のガイドライン¹⁾には、免疫エフェクター細胞関連神経毒性症候群（immune effector cell-associated neurotoxicity syndrome。以下、「ICANS」という。）は、次のように定義されています。

ICANSとは、内在性又は外来性のT細胞又は他の免疫エフェクター細胞が活性化/標的への誘導を受ける結果、中枢神経系に生じる病的プロセスとして特徴づけられる病態である。症状・徴候は進行性であることがあり、失語、意識障害、認知機能低下、筋力低下、けいれん、脳浮腫が含まれる。

(2) 原因

炎症性サイトカインによる血管透過性の亢進、脳血液関門の破綻、脳脊髄液中のサイトカイン増加の結果、脳浮腫に進行する場合があります²⁾。

(3) 診断と管理

ICANSの診断は、臨床所見に基づいており、症状・徴候としては、振戦、昏迷、興奮、けいれん等が挙げられ、重要な所見として、不全失語症、非流暢発語及び書字困難があり、表出性言語障害及び感覚性失語に進行することがあります^{1), 2)}。

観察を十分に行い、異常が認められた場合には、副腎皮質ステロイド等により適切な処置を行ってください。

3. おわりに

医療関係者の皆様においては、該当する医薬品又は再生医療等製品の使用に伴うICANSの発現に十分にご注意いただきますようお願いいたします。

引用文献

- 1) D.W. Lee, et al. ASTCT Consensus Grading for Cytokine Release Syndrome and Neurologic Toxicity Associated with Immune Effector Cells. *Biol Blood Marrow Transplant.* 2019; 25: 625-638.
- 2) P. J. Hayden et al. Management of adults and children receiving CAR T-cell therapy: 2021 best practice recommendations of the European Society for Blood and Marrow Transplantation (EBMT) and the Joint Accreditation Committee of ISCT and EBMT (JACIE) and the European Haematology Association (EHA). *Ann Oncol.* 2022; 33:259-275.